



滋賀県立
男女共同参画センター
情報誌
2023.3 vol.44



情報誌

G-NET
Shiga

Into a new era !!



CONTENTS

特集: 世代をこえて!!

- ★ G-NETしがフェスタ2022
- ★ ユースリーダーの活動
- ・ 講座REPORT
- ・ 本で学ぶ
- ・ 男性相談
- ・ 国際女性デー
- ・ 女性活躍のために
- ・ INFORMATION



ユースリーダーの報告



ユースリーダーの発表報告



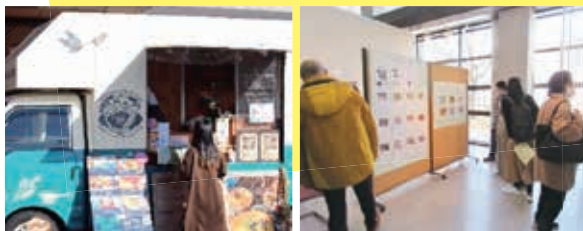
ミナツナスペシャルライブ(「yudaiゆうだい」さん)



手話歌シンガーのyokkoさん×ジンゲンダーによるステージでは、歌に合わせて手話を楽しみながら学ぶとともに、人権について考えることができました。



子どもたちに囲まれ演奏される「話花場(わかば)」さん。ミナツナスペシャルライブ後には玄関前で演奏してくださいました。



オープニングでは、参加団体がステージに上がりました。司会の滋賀大学社会教育実習生から、各団体の日ごりの活動内容やフェスタでの出展内容の紹介がありました。

G-NETしがフェスタ

平和な未来を!世代をこえて
つながろう!進めよう!



5 ジェンダー平等を
実現しよう



11月27日、『G-NETしがフェスタ2022』を県立男女共同参画センターおよび婦人会館で開催しました。コロナ感染症の影響もあり、3年ぶりに実行委員会形式で実施することができました。メインステージでは、SDGsが学べる映画上映や、お産を考える動画上映、男女共同参画推進に関する取組を紹介するパネル展示や平和を願う絵画展、人権を学ぶクイズラリー等々を行いました。

ステージ発表、体験、啓発展示、バザーやワークショップ、クイズラリーにゲームコーナー、忍者隊や甲冑隊などの団体も工夫を凝らし、学びあり楽しみあり癒しありの企画により、ご来場の皆様に喜んでいただきました。

マイクロプラスチックストーリーの上映



ニューヨークの小学生がプラスチック汚染問題に立ち上がったドキュメンタリー映画を上映しました。琵琶湖でもマイクロプラスチックが検出されるなど同じ問題が発生しており、琵琶湖の問題と重ねて熱心に視聴されていました。



若者と考える男女共同参画

8月17日

8月は、「パートナーシップ宣誓制度の周知」をテーマに開催しました。昨年10月、県内初「パートナーシップ宣誓制度」を導入された彦根市役所から「パートナーシップ宣誓制度」についてお話しいただき、これからの課題とされている周知について考えました。

感想

当事者の方を受け入れる体制が日本はまだまだ整っていない。まずは、足場づくりから始めていかなければいけない

啓発活動の難しさを再確認できました。自分が思いつかなかった案が出て、視野が広がったように感じました

今回は高校生の参加もあり、自分たちは違う世代の意見も聞けて、とても有意義な時間だったと思います。周知活動を行っていくにあたって、「学生」という立場を活かした周知活動が行えればいいと思いました

9月14日

9月は、「学校とジェンダー」をテーマに開催しました。今年度より制服が選択制になった県内高等学校の養護教諭に話題提供をいただき、現在の状況等をお話いただきました。その後、学校におけるジェンダーについて話し合いました。

意見

着たくない制服を着せられるのが苦痛だが、親や先生にうまく伝えられない

子どもは親や周りの大人の影響を受けやすく、行動や言動に顕著に表れていると感じる

学校において、仕事が分担されていたり教科書にジェンダー的によくない表現があったり、学校が性別を強要しているところもあるのではないかと感じる

学校の環境が大切だと思う

子どもにジェンダー教育するのは大事子どもにかかわる大人にも講義等必要

10月12日

10月は、「化粧とジェンダー」をテーマに開催しました。株式会社ポラ様から「多様性の理解とジェンダー平等」POLAの取り組みから考察」をテーマに話題提供いただきました。

意見

どうして女性だけが着飾らないといかないのか

女性が化粧しなくていい社会、男性も化粧をしないといけない社会のどちらかになっていくのでは？

化粧品はCMや化粧品は女性のイメージが強い ↓ CMや店舗を性別を問わないものにする

化粧をしたい男性もいることを知るとは大切

化粧をできない女性がいることも知ってほしい(肌に合わない、化粧することが困難など)

そもそも化粧はしなければならぬ？女性が化粧をするものという考え方をなくしていく

8月17日



Check! 今年度の各回テーマ

- 「ジェンダーと偏見」
- 「性の多様性について考える」
- 「パートナーシップ制度の周知について」
- 「学校とジェンダー」
- 「化粧とジェンダー」
- 「就職活動と自分らしさ」
- 「仕事とジェンダー」
- 「海外と日本のジェンダーについて」
- 「ジェンダーとアニメ」
- 「ジェンダーと戦争」

11月9日

11月は、「就職活動と自分らしさ」をテーマに開催しました。「就職活動で自分らしさを表現するためにはどうすればいいのか」について話し合いました。

意見

就職支援センターや親の意見を鵜呑みにするのはなく、自分も意見を出しお互いに歩み寄ることが大切になるのではないだろうか

現在、就活時におけるスーツや髪型の模範を提示されているため、まずはそこが多様性を受け入れたものに変わる必要があるのでないだろうか

就活生に対する企業の印象や就活の有利不利が、服装やメイク、髪型などで決まるのではないようにするべき

根本的に国の方針を変えるべき ↓ 皆が選挙に行くべき

就活生の服装や髪型などについて、どの程度までOKなのか、企業側は公開指示してほしい

ユースリーダーの活動

G-NETしが活躍する
ユースリーダー



みなさんも一緒に

アライの輪を広げていきませんか

アライ缶バッジ できました!



ユースリーダーのみなさんが
デザインを決定しました。

性的少数者の人に対する差別、
偏見は人権問題です。
まずは、性の多様性について
正しく理解し、性のあり方の
違いを尊重していきましょう。

「LGBTQ+など、セクシュアルマイ
ノリティ(性的少数者)への理解が進
んできていますが、まだまだ日本は、
LGBTQ+の方々にとっては生活し
にくい環境があります。
アライとは、LGBTQ+の方たちを、
理解し、共感し、寄り添いたい、支援
したいと思っている人たちのことです。
アライであることを表明する行動
として、アライグッズを身に付けるこ
ういう方法があります。今回、「ジェン
ダー平等ミーティング」に参加し、活
動しているユースリーダーのみなさん
と一緒に「アライ缶バッジ」を作成し
ました。

今日からできること

《アライの具体的行動例》

- 自分の周りに性的少数者の人がいるかもしれ
ないと思って行動する。
・レインボーグッズを身に付ける
・多様性について学ぶ
- 性的少数者であることを理由にいじめたり、
笑いのネタにしない。
・「ホモ」「オカマ」「レズ」など、差別用語は使わない
・当事者をからかうような言動を見かけたら、
「よくないこと」と指摘する
- 性別を特定しない言葉を使うようにする。
・「彼女(彼女)はいるの?」「どんなタイプの女
性(男性)が好き?」など、相手の性的指向
を決めつけるような質問はしない。
・「彼氏」「彼女」↓「恋人」「パートナー」と表
現する

など

アライ缶バッジを希望される方は、G-NETし
が事務室窓口でお声がけください。セクシュアル
マイノリティを理解し、アライとして行動いた
ける方にお渡します。

12月14日

12月は、「仕事とジェンダー」
をテーマに開催しました。
社会人の方にもご参加いた
だくため、19時からオンライン
で行いました。ご参加の社会
人の方々からは、学生の頃と
の違いや現状のお話を伺い、
意見交換を行いました。



2022ジェンダー平等ミーティング

感想

学生の身では思いつかないような視点
から、実際に働いておられる社会人の方
の貴重なお話を聞くことができて、大変
勉強になりました

実際に働いていないと聞けない貴重な
体験談を聞いて、今後の自分自身の人
生においてかなり重要なものになるの
はないかと思うようになりました

みんなが生きやすい社会、職場となる
ように、今回得たそれぞれの気づきを明
日のより良い生き方につなげていき、少
ずつ環境が改善されればと思います

色々議論した中で、男性・女性で区別
せず、またそういった性差を捉える考え
方自体をなくして、フラットな立ち位置
で素直に話し合える関係性の構築を目
指すべきという意見が印象的で、とても
いい学びになりました

ジェンダー平等には程遠い現状を「終わ
りなき日常」として許容するのではなく、
声に出せなくても疑問を持つことは大切
なんだ、と改めて感じる事ができました

11月27日 GINETしがフェスタ

今年度の「ジェンダー平等ミーティング」に
は、大学生をはじめ、留学生や社会人、高校
生などの参加があり、より幅広い意見交換
会になっています。

11月の「GINETしがフェスタ」では、これ
までの取り組みを発表しました。この「ジェ
ンダー平等ミーティング」が、同世代がジェ
ンダー平等についてどのように考えているかを
知り、自分自身の考え方を広げるだけでな
く、ジェンダーについて考える者同士の新し
いつながりを作るきっかけの場となっている
こと、また、ジェンダーを語り合うことを通
して、誰もが暮らしやすい社会づくりを目
指して活動していることを伝えました。



参加者の声



山村 悠理恵さん

ジェンダー平等ミーティングでは、各回テーマを用意し、様々なゲストの方にお越しいただいて議論をしています。テーマは、「性の多様性」や「化粧」「学校」「就職活動」「仕事」などです。自分自身の生活のすべては、ジェンダーという観点で捉えることができず、会議では意見交流を通して、同年代の方がどう考えているのかであったり、体験談を知ることができたりと、有意義な時間を過ごすことができました。また、今まで抱えていた思わぬ偏見やささいな誤りにも気づくことができます。

若者のみなさんも、是非気軽に会議に参加してみてください。

参加者の声



中野 綾香さん

私は、ジェンダー平等ミーティングに参加する前は、ジェンダー問題などについて、特に意識をしたことはありませんでしたが、ジェンダー平等ミーティングに参加して、ジェンダー問題は個人の問題ではなく社会の問題であるということを意識しなければいけないと感じました。特に同性パートナーシップ制度は、滋賀県にはまだ彦根市のみの導入であるため、他の市にも同性パートナーシップ制度が広がっていけば良いなと思いました。

また、ジェンダー平等ミーティングを通して、他の人の意見やさまざまな話を聞かせてもらえるので、新しい気づきを得られたり、自分の考えを再確認できたりするので参加してよかったですと感じました。



佐々木 藍さん

私はこの一年、毎月ジェンダー平等ミーティングに参加しました。元々ジェンダー問題に関心はあり、多少の知識も持っているつもりでしたが、このミーティングに参加し、高校生から社会人まで様々な方の意見を聞いたことで視野が広がり、非常に勉強になりました。今後もミーティングで有意義な意見交換をしていけたらと考えています。

滋賀県はとても住みやすい地域ですが、今現在パートナーシップ宣誓制度があるのが彦根市だけなど、ジェンダーの視点から見れば未だ発展途上にあると思います。一人でも多くの県民の皆様の理解を得て、ジェンダー平等社会の実現に近づいていくことを望んでいます。

ジェンダー平等ミーティングについて

ジェンダー平等ミーティングアドバイザー
聖泉大学 人間学部 富川 拓 准教授

令和4年度のジェンダー平等ミーティング(GINET)が主催は、聖泉大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、立命館大学などの学生に加えて、立命館守山高高等学校の皆さんにもご参加いただき、賑やかな雰囲気の中で、充実した活動を展開することができました。

ミーティングでは、若者の主体性を尊重し、各回のテーマ選定をはじめ、司会、記録、発表など、すべての活動、役割を参加学生自身が担当しました。今年度は毎回ゲストをお招きし、ジェンダー平等に纏わる話題を提供いただきましたが、テーマによっては、学生自身がこの話題提供にも挑戦してくれました。回を重ねるごとに、学生それぞれが成長したように思います。



橋爪 佑果さん

私は、ミーティングに参加することで生活の中で当たり前になってしまっている偏見や不平等について知ることができました。また、ミーティングに参加して、他の参加者と話すことで自分の考えと同じ部分、違う部分を知って、話し合い、交流できることがとても楽しいです。

現在、パートナーシップ制度が導入されているのは滋賀県内で彦根市だけです。私は、彦根市以外の市町でもこの制度を導入することでLGBTQ+の方もパートナーとしての想いを尊重し応援したいと考えています。そのためにも、彦根市だけでなく、県全体での導入が必要ではと考えています。



ジェンダー平等ミーティングの参加者を中心に、市民団体「くれよん」を設立したことも、今年度の大きな成果でした。「くれよん」では学生が代表となり、小学校の出前授業など、自分たちで考えた活動に取り組みんでいます。

ジェンダー平等ミーティングをきっかけに、ジェンダー平等に関心を持つ若者の活動が広がっています。県内外の大学生、高校生のご参加をお待ちしています。

ユースリーダーの活動



講座

概要

講座

概要

2022
しがパパママスクール
8/27(土)
10/16(日)
11/6(日)

男性の家事・育児
参画で家族みんなが
もっと笑顔に!
誰もが自分らしく
輝く社会に!!

『簡単キレイ!お掃除セミナー!!』★パパ講座、ママ講座
講師：花王グループカスタマーマーケティング(株)より5名

8/27(土)

パパ講座では、それぞれの場所に応じた効果的な洗剤の選び方など、お掃除のさらなるスキルアップにつながるお話をしていただきました。ママ講座では、「上手なお掃除4則」や「家族が家事をしたくなるアイデア5」などについて教えていただきました。質疑応答の時間には、多くの方が熱心に質問をしておられ、ワーク・ライフ・バランスやパートナーシップについて考えるよい機会となりました。

参加者の声

・家事を家族全員で楽しく実践できるように工夫することが大事だと思いました。
・家事の「業務分担」を少しでも進めていければと思います。



10/16(日)



『速い!おいしい!楽しい!みんな喜ぶ パパの料理入門“おとう飯”』
講師：長瀬 裕子 さん(管理栄養士)
だしなどの料理の「基本」や、時短のテクニックを学びました。基本を知っておくと応用が利き、レパートリーが増えると教えていただきました。

11/6(日)

『パティシエから学ぶ!パパと子どもの手作りスイーツ教室』
講師：川原崎 義裕 さん(パティスリー・ル・クレーヴオーナーパティシエ)
焼くのはパパ、混ぜたり盛りつけたりするのは子どもなど、親子で力を合わせてフワフワのパンケーキを作りました。



デートDV防止
啓発セミナー
第3回教職員
さんかく講座
第3回相談員
スキルアップ講座
8/4(木)
開催

『被害者視点から考える支援』
講師：柳谷 和美さん(おやこひろば桜梅桃李代表)

デートDVや性虐待等様々な暴力についてご自身の経験を交えて分かりやすく教えていただきました。被害者が自分を責めなくてもよいように、また、誰もが安心して過ごせるようになることで安全・安心な社会になるよう、理解を深めて日々の業務にあたることの重要性と使命感を実感できました。



第2回
G-NETほっと
セミナー
9/10(土)開催

『男性の生きづらさに寄り添う～男性は何をどう悩むのかワーク・ライフ・バランスの実現を目指して～』
講師：福江 敬介 さん(一般財団法人日本男性相談フォーラム)

男性が悩む力を取り戻すことの大切さや、ワーク・ライフ・バランスが必要な理由、人生の価値とは何かを丁寧にお話いただきました。男性だからこそその悩みとの向き合い方、寄り添い方や、自分らしく、人間らしく生きることについて、理解を深めることができました。



第3回
G-NETほっと
セミナー
10/8(土)開催

『メディアの中のジェンダーを読み解く～自分らしく生きるために～』
講師：西村 寿子 さん(NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所所長)

意図的に構成されたメディアを、マイノリティ市民の視点から多面的に読み解いていくことの大切さを学びました。「CMの分析活動」では、ジェンダーをいかに意識しないまま自分の中に取り込んでいるかを、参加者一人ひとりが実感することができました。



第4回
G-NETほっと
セミナー
11/8(火)開催

『働く女性のライフステージと健康～女性が生き生きと働き続けられるための職場づくり～』
講師：宮越 泰子 さん(一般財団法人女性労働協会管理企画部長)

女性の健康課題には個人差があること、そして、女性自身が自らの体を知って対処することと周りの人が知ること(女性の健康への理解を深めること)、両方が大切であることを学びました。参加者からは、「男性にこそ聞いてほしい内容」との感想も寄せられました。



G-NETしがで
元気を
チャージ!



入場
無料

#みんなで元気になろうフェス

3月18日 土

10:00~14:00

会場：滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”



性別を問わず、ご参加ください

※このイベントについては、HPで随時詳細を紹介していきます。イベント詳細はこちら→



地元、近江八幡から
滋賀県女性活躍推進企業認証制度 三つ星企業

滋賀県初地域密着型女子硬式野球チーム

株式会社たねや様
～お菓子を食ながら自分の夢を
短冊に書きとめてみませんか～

東近江バイオレッツ様
活動紹介等

ヘルスケアコーナー

近江八幡警察署様による
ミニ護身術講座

女性の健康を考えよう
生理について知ろうコーナー

ユースリーダーによる
アライコーナー

JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム
「生まれ!未来で輝くクリエイター+系女子in滋賀」

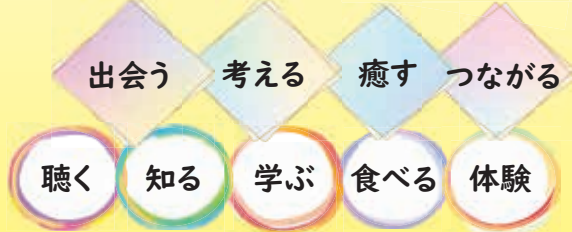
☆理系の楽しさを知ろう!
滋賀県立大学サイエンスフェスタ

- ・プラスチックでカラフル万華鏡をつくらう
- ・赤外線カメラで見る未知の世界

チャレンジショップ

なんでも相談コーナー

他にもコーナーを
ご用意してお待ち
しております。



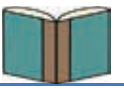
図書・資料室

自分らしく生きていくための

書箱・雑誌の紹介



図書資料室からの書籍案内



G-NETしが図書・資料室では、男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど約6万冊の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。

『母親になって後悔してる』

オルナ・ドナート//著 鹿田昌美//訳 新潮社 2022年
もし時間を巻き戻せたら、あなたは再び母になることを選びますか? この質問に「ノー」と答えた23人の女性にインタビューし、女性が母親になることで経験する多様な感情を明らかにする。女性は母親になるべきであり、母親は幸せなものであるという社会常識の中で見過ごされてきた切実な想いに丁寧に寄り添った画期的な書。



『消えたママ友』

野原広子//著 KADOKAWA 2020年
優しい旦那さんとお姑さん、かわいいツバサ君に囲まれてキラキラ幸せそうだった有紀ちゃん。そんな有紀ちゃんがある日突然姿を消した。
有紀ちゃんとは仲良かったはずなのに、何も知らなかった春香、ヨリコ、友子。しかし、みんなそれぞれに思い当たることがあった…。

『3人のママと3つのお弁当』

クク・チスン//作 斎藤真理子//訳
プロンズ新社 2020年
子育て、家事、仕事に毎日大忙しの3人のママ。今日は幼稚園の遠足で、朝からお弁当づくり。でもふと気づくと、まぶしい春の日がそこに! 日々を駆けぬけるママへ贈る絵本。



滋賀県女性活躍推進企業「三つ星企業」が新たに2社認証されました!

「滋賀県女性活躍推進企業認証制度」では県内に事業所のある企業・団体を女性活躍に関する取組状況に応じて3段階で認証しており、昨年、最高位である「三つ星企業」に新たに「住友生命保険相互会社」と「社会福祉法人 八起会」の2社を認証しました。



住友生命保険相互会社 (大津市:生命保険業)

◆取組状況

- ・2022年4月時点の女性管理職比率 **47.3%**
- ・期間限定で他所属の業務を経験することができる「キャリアアップ支援制度」や積極的なローテーションの実施により、職種の幅の拡大・キャリア形成を支援
- ・社長によるトップメッセージの発信など長い時間をかけて育休を取得しやすい風土づくりに努めてきた結果、2019年度に初めて男性の取得率100%を達成



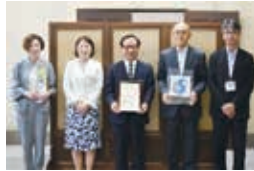
認証書授与式の様子 住友生命保険相互会社



社会福祉法人 八起会 (湖南市:医療福祉)

◆取組状況

- ・メンター制度(フレッシュマンリーダー制度)を導入し、新人育成および管理職候補者育成に注力
- ・男性の育児休業取得促進のため育児サポート制度(有給の短期育児休業)を導入
- ・託児所と提携し、法人内の職員を優先的に受け入れ、保育料の4割を法人が負担



認証書授与式の様子 社会福祉法人 八起会



滋賀県女性活躍推進企業PR動画・冊子を作成しました! 詳しくはこちらから



女性の就労サポート

総合受付:0748-36-1831

滋賀マザーズジョブステーション・近江八幡(当センター内)

★マザーズ就労支援相談コーナー.....0748-36-1831

<キャリアカウンセラーによる就労相談、保育情報の提供、各種講座の開催など>

★母子家庭等就業・自立支援センター 0748-37-5088

<ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就業に関する相談や情報提供>

★ハローワークマザーズコーナー.....0748-37-3882

<職業相談、職業紹介>

☆長浜出張相談を実施しています。

毎週月曜日 10:00~15:00 (長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜2階 LOCO Living) 詳しくは総合受付(0749-53-4480)へお問い合わせください。

☆JR草津駅前にも相談窓口があります。

滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前

総合受付:077-598-1480 草津市大路1-1-1 エルティ932 ガーデンシティ草津 3階

※休所日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始



月4回 予約制
電話相談・面接相談どちらもご相談いただけます。
まずは、
男女共同参画センター 男女共同参画相談室
みな はな さ く
0748-37-8739
《受付時間》
火、水、金、土、日
9:00~12:00、13:00~17:00
木 9:00~12:00、17:00~20:30
(祝日の翌日・年末年始・施設点検日等を除く)
へお電話ください。

男性のための
男性相談員
による
男性相談

「職場の人間関係がうまくいかない」「パートナーや家族との関係について聞いてほしい」「生き方に不安を感じる」など、周囲に理解されにくい男性の悩みやDVなどについての悩みを男性相談員が聴きます。
ひとりで悩まないで、まずはお電話ください。
一緒に考えていきましょう。



◇男性相談員による
『男もつらいよ』を館内のほか
ホームページでもご覧いただけます。

人に悩みを話すことは、とても勇気のいるものではないでしょうか。それは、「こんなことを言ったら相手からどう思われるだろう...」と不安になるからです。家庭や職場などで一緒に日常を過ごす人には自分の悩みを分かち合いたいと思う一方で、もし悪く思われたら...と話すことをためらう気持ちも大きくなるかもしれません。
そのような時には、当センターの男性相談を利用されてはいかがでしょうか。
日常の関係から離れた専門の相談員に対しての方が、話しやすい場合もあるでしょうし、誰かに悩みを話すことで気持ちに変化が生まれることもあるかもしれません。

人に悩みを話すことは
とても勇気のいるもの

Information



G-NETしが



滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”
男女共同参画相談室

みな はなさく
☎0748-37-8739

受付時間

火、水、金、土、日
9:00~12:00、13:00~17:00
木 9:00~12:00、17:00~20:30
(祝日の翌日・年末年始・施設点検日等を除く)



ひとりで悩まないで まずはお電話ください。
一緒に考えていきましょう。

相談は無料です。秘密は守ります。



総合相談

- ◆電話相談◆
- ◆面接相談◆

専門相談

- ◆DVカウンセリング◆
- ◆法律相談◆
- ◆男性相談員による男性相談◆



滋賀県
こころのサポートしが
LINE相談



左のQRコードから
LINEの友だち登録を
すると相談できます。

<相談時間>

毎日 16:00~22:00



〒523-0891
滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
【開所時間】午前9時~午後9時
【休所日】月曜日(祝休日除く)、
祝休日の翌日、年末年始、施設点検日等

【TEL】0748-37-3751
【FAX】0748-37-5770
【E-Mail】g-net@pref.shiga.lg.jp

貸館利用者募集



500人収容の大ホール

当センターでは、大ホールや
研修室、日本庭園のある
茶亭などをお貸しして
います。是非、お問い合
わせください!

※当センター主催の講座や相談に参加される場合、
無料託児をご利用いただけます。



アクセス

JR近江八幡駅下車南口より500m または
JR近江八幡駅南口から近江バス「男女共同参画センター前」下車



滋賀県立男女共同参画センター情報誌vol.43
発行日/令和5年3月1日
編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター

